

平成 28 年 3 月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 星野 克美



日本/イラン合同技術フォーラム
“在来線から高速鉄道まで”
開催のご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

日本国政府は、2015 年 7 月 25 日、欧米など6カ国とイランによる核協議の最終合意を受け、対イランの経済制裁を解除する方針を固めました。

これに伴い、各国とも制裁解除後のエネルギーやインフラ関連に多大な期待を寄せております。

日本の新幹線の誕生から 52 年目となる 2016 年は、北陸新幹線が開通し東海道新幹線の最高速度アップが実現しました。これにより日本の新幹線は、「スピード」のみならず「安全性」、「正確性」において世界から更に一層の注目を集めております。

本連盟では、この度、イランにおいて日本の在来線から高速鉄道までの技術を紹介し、日本とイランとの技術交流に貢献することを目的として、表題技術フォーラムをテヘランにて開催致します。

つきましては、鉄道事業・海外事業関連の企業様に、本技術フォーラムにおいて、貴社製品・技術のご発表、又はオブザーバーとしてご参加賜りますようお願い申し上げます。

また、現地や海外駐在員の方のご参加なども可能でございますので、詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

ご参加頂ける場合は別紙申込書に必要事項をご記入の上、2016 年 4 月 11 日 (月)までに下記、一般社団法人日本技術者連盟あてFAX(03-6229-1940)又はE-mail(gyomu1@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。

敬具

一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F

TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940

E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

URL : <http://www.jef-site.or.jp> <http://www.jef-site.or.jp/npgef/>
<http://www.wkx21c.org>

日本/イラン合同技術フォーラム

企画書

1. テーマ: 日本/イラン合同技術フォーラム
“在来線から高速鉄道まで”
2. 日本側主催: 一般社団法人日本技術者連盟(JEF)
3. イラン側協力団体:
The Ministry of Roads & Urban Development
The Railways of the Islamic Republic of Iran
※窓口責任者: Ahmad Khodaei (Acting President, The Board Member)
Abbas Nazari (Director General, International Affairs)
4. 後援:
駐日イラン・イスラム共和国大使館
日本鉄道システム輸出組合(JORSA)
5. 期間及び開催場所:
2016年5月15日(日)～5月19日(木) 5日間
【会 場】 Tehran International Permanent Fairground
【開催日時】 2016年5月17日(火) 08:30～16:00
【Round Table Meeting】 16:30～18:00
【現地視察】 2016年5月18日(水)
※イラン国鉄からの要請により、2016年5月15日(日)～5月18日(水)に開催される The 4th International Exhibition of Rail Transportation and Related Industries & Equipment, “RAIL EXPO 2016”と併設開催となります。
6. 協力:(ご依頼予定)
在イラン日本国大使館
独立行政法人国際協力機構(JICA) イラン事務所
独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO) テヘラン事務所
7. 趣 旨:
日本の新幹線の誕生から 52 年目となる 2016 年は、北陸新幹線も開通し東海道新幹線の最高速度アップが実現しました。これにより日本の新幹線は、「スピード」のみならず「安全性」、「正確性において世界から更に一層の注目を集めております。
この度、イランにおいて在来線から高速鉄道までの日本の最新技術を紹介し、日本とイランとの技術交流に貢献するため、The 4th International Exhibition of Rail Transportation and Related Industries & Equipment, “RAIL EXPO2016”の開催に合わせ、日本/イラン合同技術フォーラム“在来線から高速鉄道まで”をテヘランにて開催致します。

8. 開催目的:

一般社団法人日本技術者連盟(JEF)が主催し、現地政府機関の協賛を得て開催される技術フォーラムは、いわゆる“インフラ商談誘導型フォーラム”です。その目的は、“インフラ受注”なのではないかと考えてしまう企業の皆様もおられますがこれは間違いです。

技術フォーラム開催の目的はあくまでも“インフラ商談の機会を提供すること”にあります。フォーラム当日の受注狙いで技術フォーラムを開催致しますと、どうしても発表者の皆様の売り込みが強くなり、現地参加者の皆様がさめてしまいます。(もちろん、技術フォーラムの最終目的は“インフラ受注にある”事は間違いありません。)

技術フォーラム会場では、“この企業に相談してみたい”、“一度話を個別に聞いてみたい”などと感じてもらえる様、ワクワクさせる事が大切です。その場で即決を目指す難易度の高い技術フォーラムを開催するのではなく、一つひとつのプロセスをあがっていく様な技術フォーラムを目指しています。

そのために主催者である JEF では、昼食会、午前・午後のコーヒープレイクタイムさらに技術フォーラムのアジェンダ最後の時間に設定される“Round Table Meeting”のアレンジを大変重要視致しています。

9. 団長:

奥村 文直 氏

公益財団法人鉄道総合技術研究所 理事 工学博士 技術士



■ 略歴

- 1981年 日本国有鉄道 入社
- 1987年 財団法人鉄道総合技術研究所 総務部総務課 主席
米国カリフォルニア大学バークレー校工学部修士課程修了(MSc)
- 1992年 財団法人鉄道総合技術研究所 研究室(耐震・基礎)主任研究員
- 1994年 学位取得 博士(工学) 東京工業大学
- 1996年 財団法人鉄道総合技術研究所 浮上式鉄道開発本部計画部主幹
- 1997年 財団法人鉄道総合技術研究所 浮上式鉄道開発本部 計画部長
- 2005年 ケンブリッジ大学工学部 客員研究員(出向)
- 2006年 財団法人鉄道総合技術研究所 企画室 次長
- 2009年 財団法人鉄道総合技術研究所 総務部次長 兼 企画室次長
- 2011年 公益財団法人鉄道総合技術研究所 総務部長
- 2013年 公益財団法人鉄道総合技術研究所 理事

10. テーマと発表者:(案)

- ① 日本の“在来線から高速鉄道まで”の技術の半世紀の歴史と実績
- ② 日本の“在来線から高速鉄道まで”の現状と将来展望
- ③ 世界の主な高速鉄道との技術内容の比較 (1)
安全性と信頼性 信号・専用鉄道・動力方式を含む
- ④ 世界の主な高速鉄道との技術内容の比較 (2)
建設コスト フランス・中国と比較して高価な理由
- ⑤ 世界の主な高速鉄道との技術内容の比較 (3)
省エネルギー・環境特性 軽量化技術を含む
- ⑥ 世界の主な高速鉄道との技術内容の比較 (4)
その他の得失 耐震性等の日本固有の技術を含む
- ⑦ 日本の在来線、並びに、欧州高速鉄道との比較
(土建、システム、車両、ライフサイクルコスト、Safety & Environmental)
- ⑧ その他

11. イラン側参加者:170名(予定)

The Ministry of Roads & Urban Development 及び The Railways of the Islamic Republic of Iran 関係者及び政府機関、団体関係者、学識経験者、企業、大使館、他
<イラン国鉄より以下の皆様に本フォーラムのご案内が予定されています。>

Railways Managers of ECO	Ministry Of Road and Urban Development
Honorable Representative of the Parliament	Ministry of Foreign Affairs
Honorable members of the Expediency Council	Train Owner Companies
Officials and Managers of the Government and Military Forces	EMU Manufacturing Companies
Managers of Factories in the Field of Equipment and Services of Rail Transportation Industry	RAJA Rail Transportation Company
Islamic Republic of Iran Railways	High Speed Lines Consultant Companies
Islamic Parliament Of Iran	High Speed Lines Contractor Companies
The Center Of Strategic Studies	Construction & Development of Transportation Infrastructure Company (CDTIC)
	Management and Planning Organization

12. 発表言語:英語

13. 募集人員:15名 (スピーカー及びオブザーバー含む)

14. 参加費用: ¥870,000(税込)・・・日本から全行程参加される場合
¥670,000(税込)・・・現地から参加される場合
※詳細につきましては事務局までお問い合わせください。

15. 技術論文作成について:

- ①参加者のテキストの使用言語は英語とします。
- ②発表時間は30分前後とします。
- ③発表される技術論文のアブストラクトをA4サイズ1ページにまとめて頂き、4月25日(月)までにJEF事務局宛、PDFファイルでお送り下さい。
- ④フォーラムにて使用されるスライドは各自ご持参して頂くと共に、事前にJEF事務局までPDFファイルでお送り下さい。
(発表会場にはプロジェクター・スクリーン等準備しています)
- ⑤質疑応答は日本語・英語(又はペルシャ語)の逐次通訳となります。

16. 通訳者:ベテラン適任者

17. ホテル:一人部屋

18. 旅行主催:万達旅運株式会社ワンダートラベル

19. 総合事務局:株式会社アジア技術移転機構

20. 申込方法:添付申込書に必要事項記入の上、4月11日(月)までにFAX(03-6229-1940)
又はE-mail(gyomu1@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。

21. 代金支払:総合事務局 株式会社アジア技術移転機構 より請求書をご送付申し上げます。

22. ビザについて:日本からイラン入国される場合ビザが必要となります。

- 4月20日(水)までに参加者のパスポートコピー等が必要となります。
- ・ビザ申請用紙(こちらにてご用意致します)
 - ・写真2枚(カラー写真 縦4cm、横3cm、背景白、眼鏡はずす、同一ネガ)
 - ・パスポート原本

出張等で遅れる場合や詳細につきましては事務局までお問い合わせください。

*ご注意事項：（詳細につきましては事務局までお問い合わせ下さい。）

- > 米国は 2015 年ビザ免除プログラム (ESTA) の改定及びテロリスト渡航防止法の施行を開始しました。下記に該当する渡航者はビザ免除プログラム (ESTA) を利用して渡航することはできません。
- > ビザ免除参加国の国籍で、2011 年 3 月以降にイラン・イラク・スーダン又はシリアに渡航又は滞在したことがある上記条件に該当する渡航者は、大使館・領事館にて通常のビザ申請が可能です。
- > 大使館・領事館でビザ面接を受けビザを取得して下さい。
- > この新法は、米国への渡航または入国を禁止するものではありません。
- > 上記該当者は、渡航希望日の少なくとも3ヵ月前までに非移民ビザ（観光ビザ、ビジネスビザ等）の申請を行って下さい
- > 緊急に渡米する必要のない渡航者はビザ申請料金 (U)\$160.-) を支払い、下記 URL から DS160 オンライン申請書を作成し面接予約をして下さい。
<http://japanese.japan.usembassy.gov/j/visa/tvisaj-ceac-ds160.html>
非移民ビザ (商用/観光) の有効期限は、領事判断で数ヶ月～無期限 (10 年間) 有効期間内であれば何度でも入国可能です。



一般社団法人日本技術者連盟 専務理事 井戸田 勲
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F
TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940
E-mail : idota@jef-site.or.jp URL : <http://www.jef-site.or.jp>
URL : <http://www.jef-site.or.jp/npgef/> URL : <http://www.wkx21c.org>



The Railways of the Islamic Republic of Iran

● **Asia-Europe International Corridor**

Origin of the Corridor:

China

Country of destination:

Turkey, Europe

Countries of the route:

3 alternatives

1- China, Kazakhstan,

Uzbekistan, Turkmenistan,

Iran, Turkey, Europe,

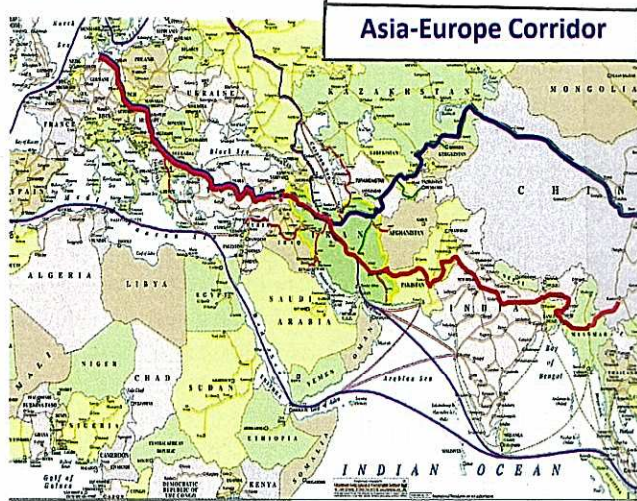
2- China, Myanmar, Bangla-

desh, India, Pakistan, Iran,

Turkey, Europe,

3- China, Kyrgyzstan, Tajik-

istan, Afghanistan, Iran



Geographical Situation of the plan:

One of the important corridors which plays a unique and exclusive role in connecting Asia to Europe is the Corridor of Asia-Europe. With regards to the strategic situation of RAI and being located in the main connecting route of Asia-Europe, in order for presenting appropriate services and promoting the quality of international and transit transportation services, the Railways of Islamic Republic of Iran has allocated a considerable capital specifically in North – South and East – West corridors to expand capacities and development of the country transportation infrastructures.

Corridors which connect Asia to Europe have highlighted the role of land corridors because of considerable decrease in time and transportation costs, due to the special geographic situation and the relative long distance of marine routes.

● **East- West Corridor (Persian Gulf- Mediterranean Sea)**

Name of Corridor: Persian Gulf-Mediterranean Sea

Origin of the Corridor: 1. Persian Gulf region and Iran and or 2. China

Country of destination: Greece and Europe

Countries of the route:

There are two routes: a) Persian Gulf, Iran, Iraq, Syria, Mediterranean Sea, Greece, Europe

and b) China, CIS countries, Iran, Iraq, Syria, Mediterranean Sea, Greece, Europe

Recently the connection of Khoramshahr to Basra" which will be connected to Syria and from there to Mediterranean Sea (Latakia port) and then to Greece and Europe ports in future and the new Corridor of the Mediterranean Sea - Persian Gulf will be completed accordingly.

It seems that the Jordan Railways, after being informed from the existence of such corridor is willing to join to Iraqi Railways. In case of realization of this issue, Iran and Persian Gulf will be connected to the Mediterranean Sea by the two routes of: Iran-Iraq-Syria and Iran-Iraq-Jordan, accordingly. Meanwhile, Syrian Railways is removing its missing links with Iraq. If the Iranian Railways connect to Iraq, it will be connected to Syria as well.

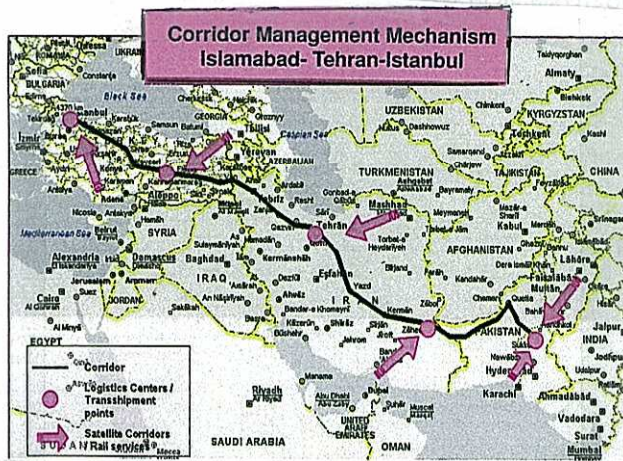
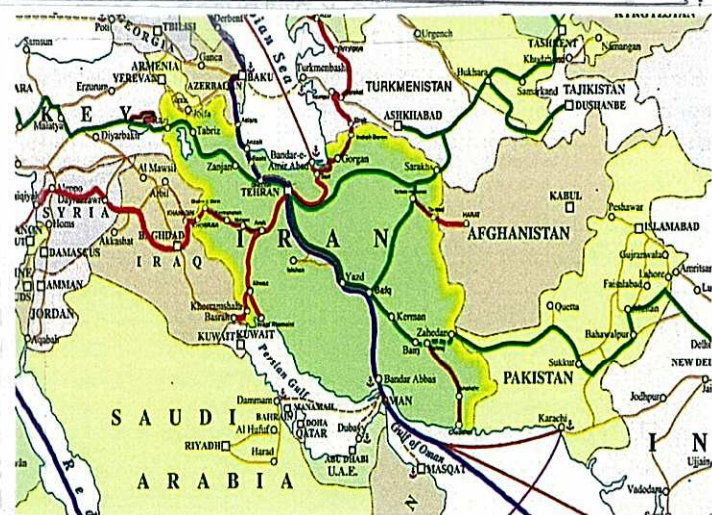
● **Islamabad- Tehran-Istanbul Corridor**

Once Kerman-Bam-Zahedan railway was complete, the first demonstration train was launched along Islamabad-Tehran-Istanbul route.

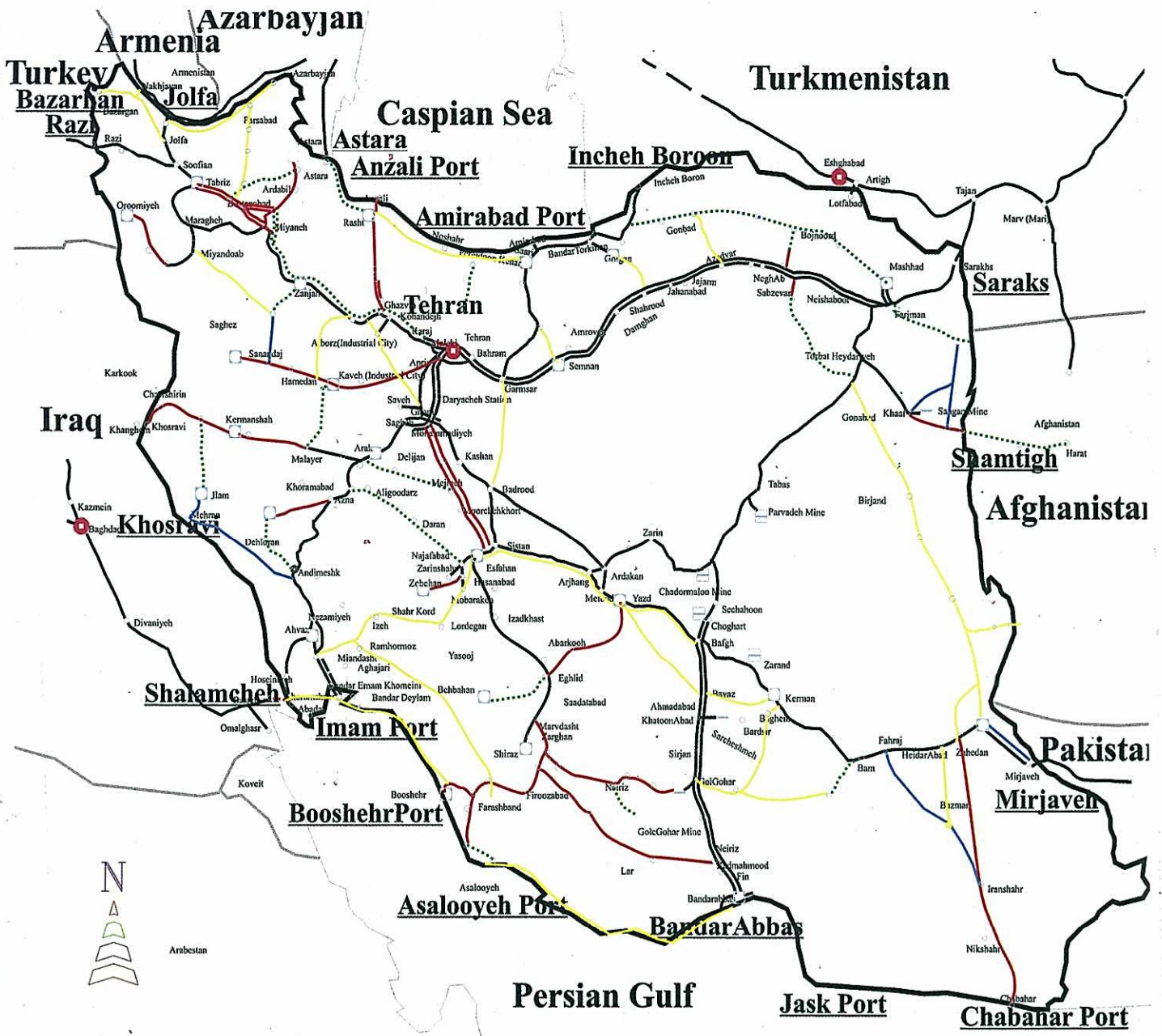
Origin: Pakistan

Destination: Turkey

East- West Corridor (Persian Gulf- Mediterranean Sea)



EXISTING, UNDERCONSTRUCTION AND UNDERSTUDY RAILWAY PROJECTS OF IRAN



DATE: 2014 March

日本/イラン合同技術フォーラム “在来線から高速鉄道まで”

日 程 表 2016年5月15日(日)～5月19日(木) エミレーツ航空利用

※訪問先・発着時間・交通手段等は都合により変更の場合もございます。
予めご了承下さい。

※飛行機はエコノミークラスを利用します。

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	5/15 (日)	成田(NRT)発	EK-319	20:00	成田空港 第2ターミナル3階 エミレーツ航空(C) 集合	機内食
				22:00		
2	5/16 (月)	ドバイ(DXB)着 ドバイ(DXB)発 テヘラン(IKA)着 テヘラン滞在	EK-971 専用車/ガイド	4:15 7:45 10:25	エミレーツ航空にてドバイ乗継にてテヘランへ ホテルチェックイン後、RAIL EXPO2016視察 午後 フォーラム準備 テヘラン泊	昼○ 夕○
3	5/17 (火)	テヘラン滞在		8:30 ～ 18:00	日本/イラン合同技術フォーラム “在来線から高速鉄道まで” 開催 テヘラン泊	朝○ 昼○ 夕○
4	5/18 (水)	テヘラン滞在 テヘラン(IKA)発	専用車/ガイド EK-978	終日 22:20	関連省庁訪問及びテヘラン市内視察	朝○ 昼○ 夕○
5	5/19 (木)	ドバイ(DXB)着 ドバイ(DXB)発 成田(NRT)着	EK-318	0:15 2:50 17:35	エミレーツ航空にてドバイ乗継にて帰国の途へ	機内食

参加費に含まれるもの

- I) 旅行上の諸費用
- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
 - ・ 燃油特別付加運賃、空港税等
 - ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
 - ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
 - ・ 団長、事務局、添乗員同行費用
 - ・ イランVISA代

- II) 現地諸機関折衝及び手配料
- ・ 「日本/イラン合同技術フォーラム」開催会場費、設営諸費用
 - ・ 打合せ会/現地配布資料代 他
 - ・ 現地事前打合せ出張諸費用

III) 企画・運営費

- ・ 企画運営費

その他

- ・ 参加費は、2016年2月23日現在の運賃及び15名以上の参加に準拠したもので、ご出発前に参加人員に変更のあった時には、参加費用に変更される場合もありますので予めご了承下さい。
- ・ 尚、申込み後はキャンセルチャージが発生致しますのでご注意ください。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人日本プライバシー認証機構 会長 多摩大学 名誉教授
顧問	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	唐津 一	東海大学 名誉教授
	内藤 香	公益財団法人核物質管理センター 前理事長 原子力規制委員会 核セキュリティに関する検討会 委員
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph. D.
	森 和義	有限会社森テクノマネジメント 代表取締役 技術士(電気・電子部門、経営工学部門)
	佐藤 正文	一般社団法人日・タイ経済協力協会 相談役
監事	寺村 康佑	株式会社サイバープロ 取締役

一般社団法人日本技術者連盟 委員会 委員構成**『国際原子力発電技術移転機構』委員会**

委員長	佐々木宜彦	前一般財団法人発電設備技術検査協会 理事長
顧問	野々内 隆	前一般財団法人経済産業調査会 理事長
	荒井 利治	元一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長
	宅間 正夫	元一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長
委員	池本 一郎	一般財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学)
	小川 順子	東京都市大学准教授/女性研究者支援室長 WIN-Japan 会長
	金氏 顯	前一般社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事
	河原 暉	元一般社団法人日本原子力学会 会長
	佐川 涉	前一般社団法人日本技術士会 理事 技術士 工学博士
	関村 直人	東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 工学博士
	多田 伸雄	一般社団法人日本電機工業会 原子力部長
	尾野 昌之	電気事業連合会 原子力部長
	新田 隆司	元 日本原子力発電株式会社 常務取締役
	藤井 靖彦	東京工業大学名誉教授 工学博士
	宮野 廣	特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問
	諸葛 宗男	法政大学 客員教授 前 東京大学公共政策大学院 特任教授

『アフリカ・中東技術者フォーラム』委員会

委員長	森 和義	一般社団法人 日本技術者連盟 理事 技術士(電気電子部門、経営工学部門)
委員	畑尾 成道	技術士(建設部門、総合技術監理部門)
	坂倉 省吾	財団法人海外技術者研修協会 理事 工学博士
	島 直	ICTコンサルタント・前GBDe消費者信頼委員会 筆頭シェルフ
	佐藤 正文	前 財団法人 海外技術者研修協会 理事 社団法人 日・タイ経済協力協会 専務理事
	小泉 英雄	技術士(電気電子部門)
	鄭 紹良	台湾總統府 科学技術諮問委員会 委員 台湾總統府 顧問 国家実験研究院 ボードディレクター 無任所大使、工学博士・PE
	井戸田 勲	一般社団法人 日本技術者連盟 専務理事
海外委員	AOTS各国同窓会メンバーよりご依頼中・順不同	
アジア地区	Himpunan Alumni AOTS Indonesia Persatuan Alumni AOTS Malaysia AOTS Vietnam Alumni Society (AVAS) ABK & AOTS Alumni Association (Thailand)	
中東地区	Association of Iran's Japan Alumni (AIJA)	
アフリカ地区	AOTS Alumni Society, Cameroun (AOTSA-CAMEROUN) AOTS Alumni Society, Egypt AOTS Alumni Association - Ghana AOTS Alumni Society of Tanzania The AOTS Alumni Society of South Africa	

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL：03-6229-1950

お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又はE-mail: gyomu1@jef-site.or.jpでお送り下さい。

日本/イラン合同技術フォーラム “在来線から高速鉄道まで” 参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行 FAX 03-6229-1940

※該当欄にチェックして下さい

- 技術論文を発表する 発表テーマ()
- 技術論文を発表しないがフォーラムに参加する

フリガナ			
会社名・団体名	<p style="font-size: small;">メンバーリスト作成のため 顔写真をご提出ください</p> <ul style="list-style-type: none"> ●4cm×3cm ●脱帽・正面・背景無地 ●パスポート顔写真の スキャンコピーでも可 		
英文名			
所属名/役職名			
英文名			
フリガナ	生年月日	西暦	年 月 日
参加者氏名			
パスポート記載名 (ローマ字)	学位		
E-mail	携帯電話番号		
勤務先	〒 住所		
	電話番号	FAX番号	
自宅	〒 住所		
	電話番号		
フリガナ			
担当責任者名	印		
所属名/役職名			
電話番号/E-mail			
<p>旅券(パスポート)について: 今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。(日本帰国日までの残存が必要)</p> <p>① はい <input type="checkbox"/> 旅券番号: _____ 有効期限: 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p>② いいえ <input type="checkbox"/> 現在申請中 <input type="checkbox"/> 旅券の作成代行を依頼する。(有料) <input type="checkbox"/> 自分で申請・取得する</p>			
喫煙の習慣	有 ・ 無	マイレージをお持ちの方は番号を記載して下さい	
<p>通信欄 (ご質問・ご希望等お書き下さい)</p>			

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱に関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1.個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス(以下「旅行サービス」といいます)を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2.個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア.ご本人の同意がある場合

イ.旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ.法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3.個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催: 一般社団法人日本技術者連盟

http://www.jef-site.or.jp/nggef/index.html E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F

TEL: 03-6229-1950 FAX: 03-6229-1940

旅行主催: 万達旅運株式会社 ワンダートラベル

TEL: 03-5157-2207 FAX: 03-5157-2208